

2 河川・砂防

重点施策(1)

水災害を軽減するための流域治水の推進

施策内容

頻発・激甚化する水災害から県民の「命」や「財産」はもとより、日々の「暮らし」や「生業」を守るため、河川・砂防関係施設の計画的な整備による事前防災の取組等、流域全体のあらゆる関係者と協働し、**水災害を軽減するための流域治水対策**を推進します。

主な取組

- 気候変動を考慮した**河川整備計画の見直し**
- 洪水による被害を防ぐ**河川整備**の推進
- 土砂災害を防止する**砂防関係施設整備**の推進
- **ダムの洪水調節機能を発揮**させるための事前放流を含めた**的確な運用**
- 国・県・市町・企業・住民など**あらゆる関係者が協働して取り組む流域治水**の推進
- 水辺に親しむことができる**良好な河川空間の創出**

地下捷水路(建設中)



巴波川/栃木市

調節池(完成)



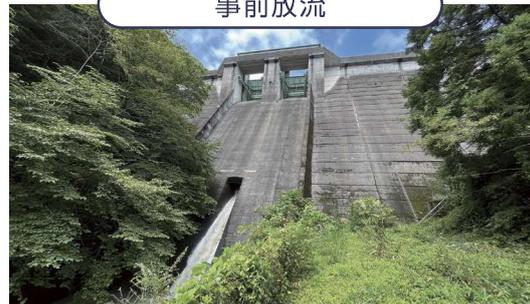
田川/宇都宮市

砂防堰堤(完成)



馬場沢/足利市

事前放流



西荒川ダム/塩谷町

成果指標

成果指標	現状値	目標値
河川における優先整備区間の整備延長	98.9km(2025)	120.0km(2030)
土砂災害警戒区域内における重点整備箇所の対策完了箇所数	55箇所(2025)	88箇所(2030)

重点施策(2)

災害対応力の強化

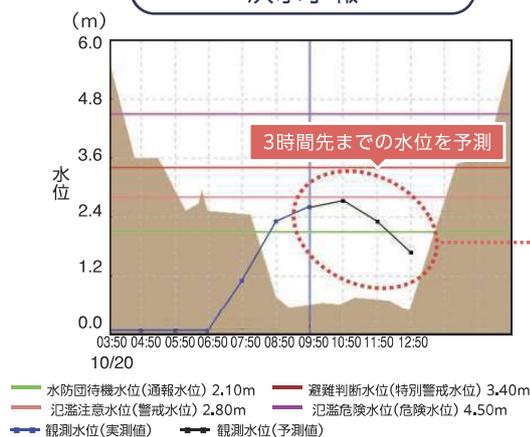
施策内容

自然災害発生時の被害を軽減し、早期の復旧活動が可能となるよう、防災情報の確実な発信手段の充実や、防災訓練等を通じた地域防災力の向上などにより、**災害対応力の強化**を図ります。

主な取組

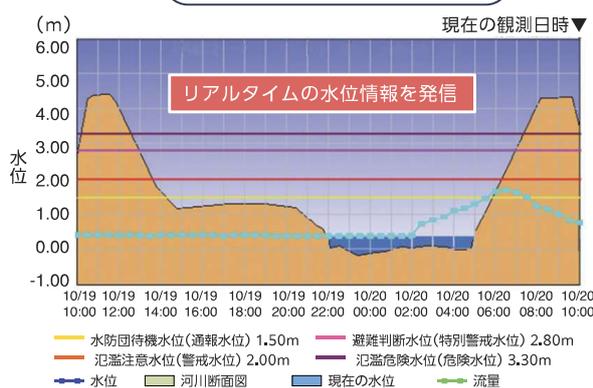
- 水害や土砂災害等の危険度を分かりやすく伝える**災害リスク情報**や**リアルタイム情報の充実と確実な発信**
- 洪水浸水想定区域、雨水出水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域を基に市町が実施する**ハザードマップ整備への支援**
- 土砂災害警戒区域を分かりやすく伝える**ダイレクトメールの送付**や**標識の設置**
- **自然災害に備えた資機材の適切な配備と運用**
- 地域防災力の向上に向けた**各種防災訓練や出前講座・ワークショップの実施**
- 公共土木施設の復旧体制に関する**国・県・市町及び関係団体の連携強化**

洪水予報



← 実測値 →					← 予測値 →		
時	03:50	04:50	05:50	06:50	07:50	08:50	09:50
水位(m)	0.09	0.09	0.09	0.09	1.09	2.35	2.56
						2.75	2.32
							1.66

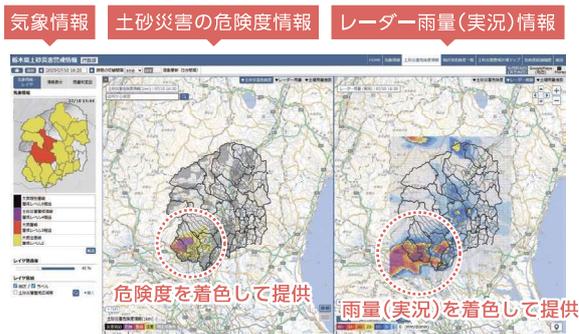
河川水位情報



日時	22:30	23:00	23:30	10/20 00:00	00:30	01:00	01:30	02:00	02:30	03:00	03:30	04:00
水位(m)	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.72	0.85	0.94	1.08
水位差分(m)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

日時	04:30	05:00	05:30	06:00	06:30	07:00	07:30	08:00	08:30	09:00	09:30	10:00
水位(m)	1.17	1.26	1.44	1.58	1.71	1.59	1.51	1.22	1.15	1.02	0.77	0.71
水位差分(m)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

土砂災害警戒情報



ダイレクトメールの送付



防災訓練

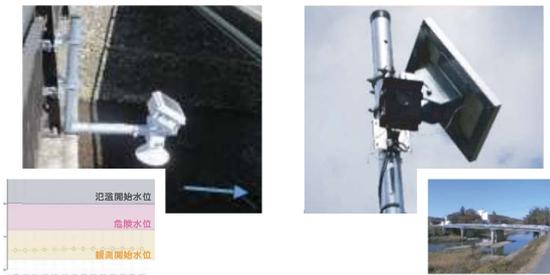


利根川水系連合・総合水防演習

流域治水に関する小学校での出前講座



危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる観測データの配信



緊急速報メールを活用したプッシュ型配信



ハザードマップ整備支援



大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議



排水ポンプ車操作訓練



合同情報伝達訓練



成果指標

成果指標	現状値	目標値
市町によるハザードマップの整備率	75%(2025)	100%(2030)

3 まちづくり

重点施策(1)

「とちぎのスマート+コンパクトシティ」の実現

施策内容

災害に強く、持続可能でにぎわいのある誰もが暮らしやすい「まち」をつくるため、地域の特性に応じた都市機能を集積した拠点づくりを進めるとともに、地域資源を活用した魅力やにぎわいを創出するなど、「とちぎのスマート+コンパクトシティ」の実現に向けた取組を推進します。

主な取組

拠点づくり

- 都市機能の集積や **まちなかへの居住の誘導** の促進



那須塩原市



小山市

- **空き家の発生抑制、活用・除却** の促進による良好な都市環境の確保・創出
- **道路のバリアフリー化** による誰もが使いやすい道路空間の創出



真岡市



県道下今市停車場線/日光市

- **下水道の整備** による生活環境の保全

地域に応じた生活排水処理施設

農村部の集落は
農業集落排水で整備

農業振興地域

団地

中心市街地

人家のまばらな周辺部では
浄化槽(個別処理)で整備

人口が密集した市街地は
下水道で整備

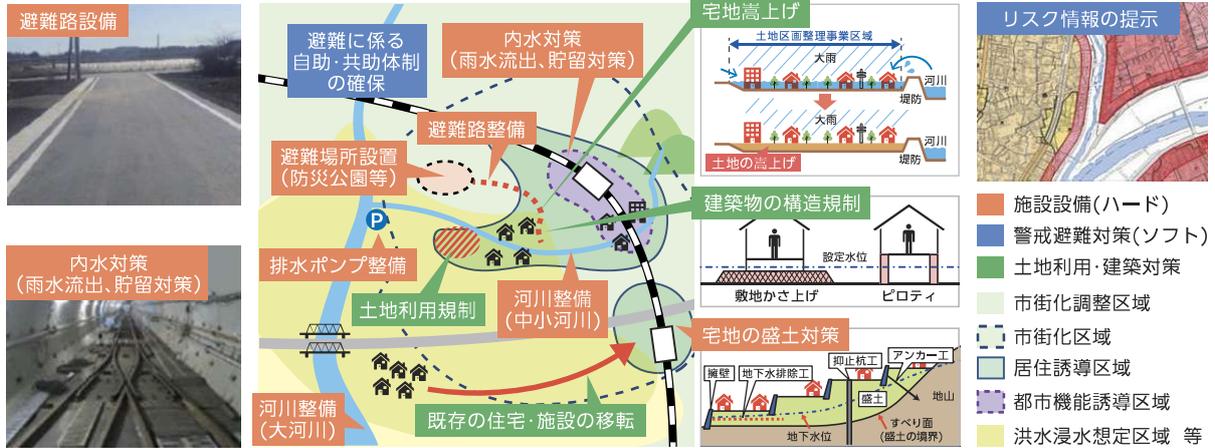
下水道普及率の向上

主な取組

防災まちづくり

● 災害リスクを踏まえた**防災まちづくり**の促進

防災まちづくりのイメージ



主な取組

魅力・にぎわいの創出

● 個性あふれる**持続可能な都市づくり**の推進



宇都宮駅東口地区/宇都宮市



とちぎ蔵の街/栃木市

● 公開空地や道路・河川などの**公共空間の活用**による**魅力やにぎわいの創出**

公開空地の活用



宝積寺駅前広場/高根沢町

公園空間の活用



城山公園/小山市

道路空間の活用



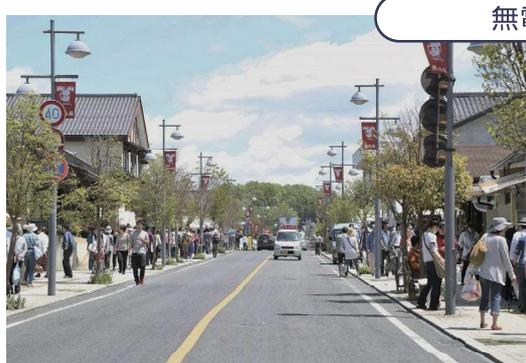
市道東那須野大通り/那須塩原市

河川空間の活用



田川/宇都宮市

- 無電柱化等による**魅力的で個性ある景観**の形成



県道下大羽益子線/益子町



国道119号/日光市

無電柱化

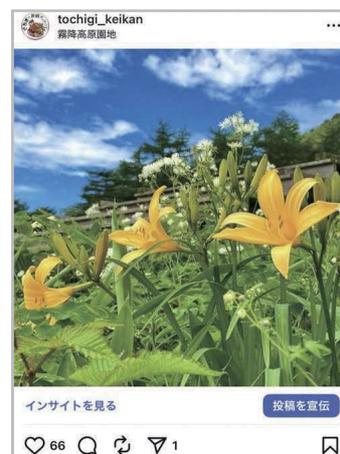
- **インフラカード**を活用した観光促進
- SNSを活用したとちぎの**魅力ある景観**に関する情報の発信
- 生態系や親水性、景観などに配慮した**多自然川づくり**の推進

各種インフラカード



※上記の写真には既に配布を終了しているカードも含まれています。

SNSによる魅力ある景観の発信



TOCHIGI.KEIKAN

成果指標

成果指標	現状値	目標値
立地適正化計画策定市町数	16市町(2025)	21市町(2030)
空家等管理活用支援法人の指定法人数	6法人(2025)	15法人(2030)
下水道普及率	70.4%(2024)	73.2%(2030)
防災指針策定市町数	14市町(2025)	21市町(2030)
上水道の基幹管路耐震適合率	40.3%(2023)	47.3%(2030)
流域下水道の重要管渠耐震化率	36.1%(2024)	90.0%(2030)
都市再生整備計画地区数	109地区(2025)	119地区(2030)

重点施策(2)

誰もが安心して快適に暮らせる住まいの確保

施策内容

県民一人ひとりが真に豊かさを実感でき、希望する住生活を実現するため、**誰もが安心して快適に暮らせる住まいの確保**に向けた取組を推進します。

主な取組

- 倒壊による被害防止・軽減に向けた**住宅・建築物の耐震化等**の促進
- 多様な住居ニーズにきめ細かに対応した**住まいの確保・居住支援**の推進
- 子育て世帯や高齢者などにやさしい**県営住宅のバリアフリー化**の推進

住宅の耐震化



建築物の耐震化



サービス付き高齢者向け住宅



県営住宅の高齢者向け住戸改善



成果指標

成果指標	現状値	目標値
住宅の耐震化率	92%(2025)	96%(2030)
バリアフリー化された県営住宅戸数	3,310戸(2025)	3,400戸(2030)

重点施策(3)

快適で魅力にあふれる都市公園づくり

施策内容

多様化する県民ニーズに応えるとともに、地域の魅力や資源を生かした地域の活性化を図るため、民間活力の活用や公園施設の再整備、樹木の適正管理に取り組むなど、**快適で魅力にあふれる都市公園づくり**を推進します。

主な取組

- Park-PFI 制度※などの**民間活力**による都市公園の魅力向上

※ 平成29(2017)年度の都市公園法改正により創設された、民間資金等を活用した公園の整備・管理手法

Park-PFI を活用した公園施設の整備



宿泊施設(移動式コンテナホテル)の整備イメージ

とちぎわんぱく公園/壬生町

指定管理者による公園施設の整備



運動施設(ドッグラン)の整備

鬼怒グリーンパーク/宇都宮市・さくら市・高根沢町

- 時代の変化や多様なニーズに対応した**公園施設の再整備・樹木の適正管理**の推進
- 公園施設の定期的な点検と計画的な修繕・更新による**長寿命化対策**の推進
- 都市公園を中心としたエリアの**地域振興**の促進

樹木点検と病虫害被害の対策



サクラ

病虫害の拡散防止と被害抑制のため
ネット巻きを実施

みかも山公園/栃木市・佐野市

「いがしらリゾート活性化協議会」によるイベントの開催



井頭公園/真岡市

成果指標

成果指標	現状値	目標値
県営都市公園の年間利用者数	506万人(2024)	530万人(2030)

4 公共交通

重点施策(1)

地域の実情に応じた公共交通サービスの確保・充実

施策内容

豊かな日常生活の実現や活発な交流・連携の促進に向けて、**地域の実情**に応じた公共交通サービスの確保・充実に取り組みます。

主な取組

- 持続可能な地域交通の確保・充実に対する支援
- 広域的な公共交通ネットワークの充実・強化
- 誰もが快適で利用しやすい公共交通サービスの提供

民間路線バスの運行支援



第三セクター鉄道の運行・施設整備支援



市町村生活交通への運行支援



LRT 整備事業への支援



シームレスな移動を支える
交通結節点の機能強化



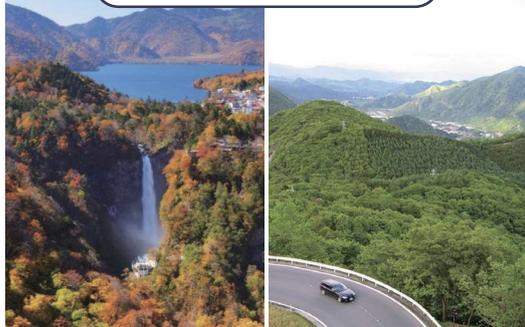
バリアフリー車両の導入支援



主な取組

- 新モビリティによる奥日光地域へのアクセスの強化
- 無人自動運転移動サービス導入への支援

新モビリティ導入の検討



奥日光地域

無人自動運転移動サービスの導入支援



- 共創による地域交通の担い手の確保・育成

交通事業者による採用説明会の開催支援



運転体験会の開催支援



企画立案ワークショップの開催



スキルアップセミナーの開催



成果指標

成果指標	現状値	目標値
鉄道・バス等の利用者数	22.2万人/日(2024)	24.6万人/日(2029)
公共交通に関する満足度	59.2%(2025)	60.0%(2030)
共創に係る事業の取組件数	53件(2025)	100件(2030)

みんなで取り組む “流域治水”

「流域治水」という考え方

行政が主体となる河川整備等に加え、流域のあらゆる関係者が協働し、様々な流域治水対策に取り組むことで、洪水による被害を軽減することができます。



栃木県では、「栃木県流域治水プロジェクト」を策定し、次の3つの対策を柱に治水対策を取りまとめ、流域のあらゆる関係者による様々な取組を示しています。

栃木県流域治水プロジェクトにおける主な取組

1 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

● 洪水防御施設の整備【行政】



● 雨水貯留・浸透施設の整備・促進【行政・住民・企業】



2 被害対象を減少させるための対策

● 家屋移転
(防災集団移転)
【行政・住民】



3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

● ハザードマップや防災情報の確認【住民・企業】



県が配信する防災情報

地震情報／火山情報／気象警報・注意報
土砂災害警戒情報／指定河川洪水予報
その他の気象情報 など

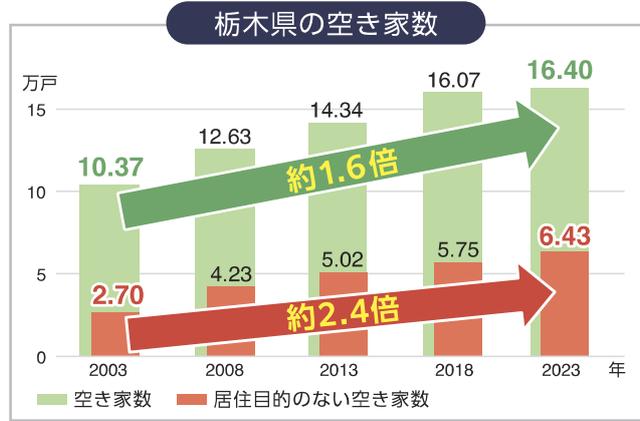
空き家対策の推進

空き家の現状は？

空き家数は、5年に1度、総務省が実施する「住宅・土地統計調査」により公表されています。

栃木県の空き家数は一貫して増加傾向にあり、平成15(2003)年から令和5(2023)年にかけて**約1.6倍**となっています。

また、賃貸用の住宅、売却用の住宅、二次的住宅(別荘など)を除いた居住目的のない空き家数は、**約2.4倍**となっており、適正な管理が行われていない空き家の増加が懸念されています。



空き家の問題と対策は？

適正な管理が行われていない空き家は、安全、衛生、景観上の観点から地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼします。また、災害時において、倒壊等により避難や救助の妨げとなるなど、防災上の観点からも問題があります。

これらの問題に対応するため、「空き家の適正管理に向けた所有者への意識啓発」や「空き家を住宅や別用途へ転用する活用促進」、「老朽化が進み活用が難しい危険な空き家の除却」などを推進していくことが重要です。

空き家への3つの対策

その1

空き家の適正管理

空き家対策の第一歩は、適正な管理を行うことです。



その2

空き家の活用促進

状態が良い空き家は、活かし方を検討することが大切です。



その3

危険な空き家の除却

老朽化が著しく活用が困難な場合は、除却も選択肢の一つです。



具体的な取組は？

「とちぎ空き家サイト」の運営

空き家の適正管理・活用促進、危険な空き家の除却に向けた所有者の行動変容を促すことなどを目的とした「**とちぎ空き家サイト-とちぎの家と人をつなぐ空き家ポータルサイト-**」を令和8年3月から運用しています。

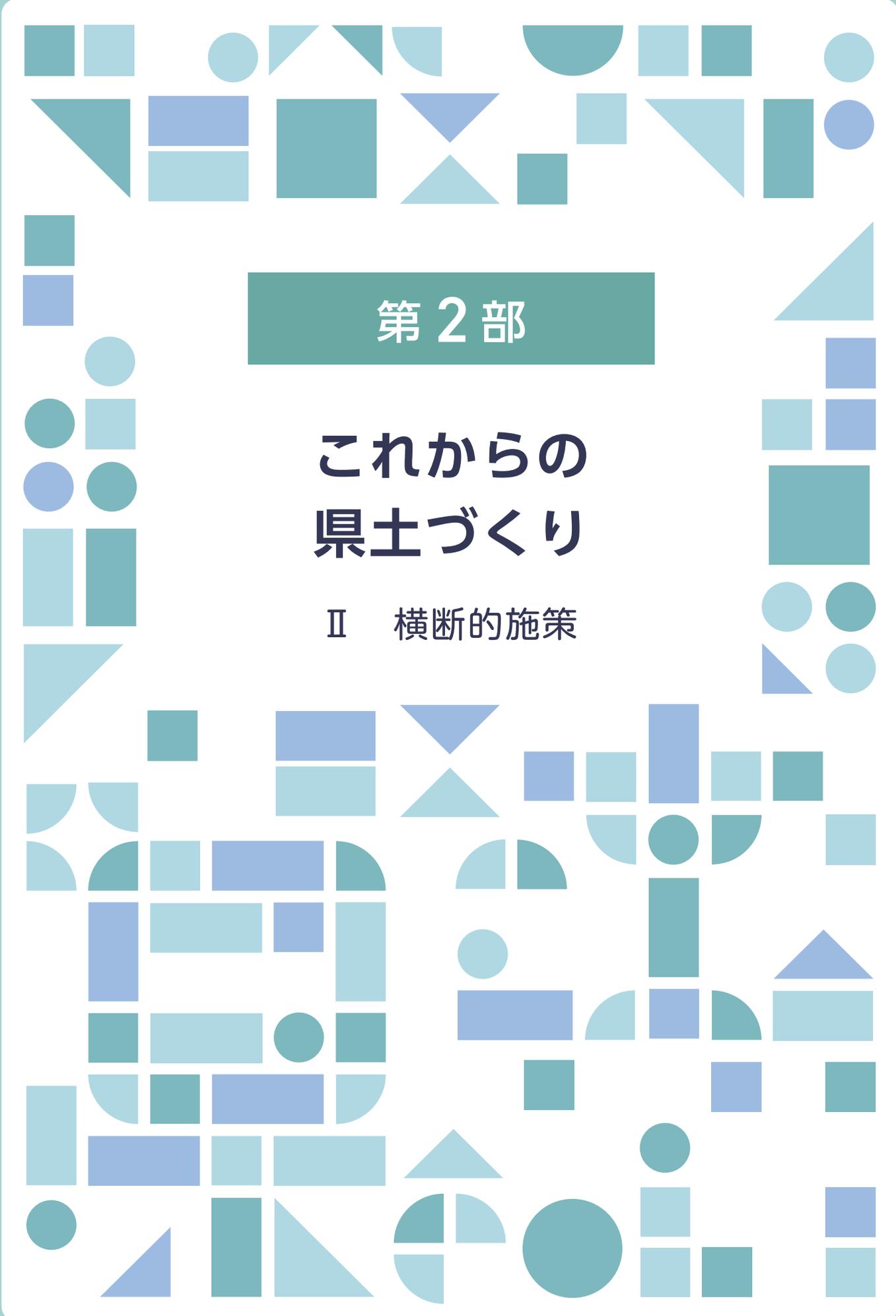
主なコンテンツ

- 栃木県空き家バンク(県内の空き家情報を集約)
- 空き家の基本情報(放置リスクや管理手法など)
- 空き家に関する支援案内(県内市町の補助制度情報)
- 空き家の活用事例・提供事例の紹介 など



サイトへのアクセスはこちら





第2部

これからの 県土づくり

Ⅱ 横断的施策

横断的施策 1

防災・減災、県土強靱化

施策内容

県民の「命」や「財産」はもとより、日々の「暮らし」や「生業」を守るため、市町、民間企業や県民等のあらゆる関係者と連携し、社会資本の整備や維持管理に加え、防災情報の確実な発信など、強くしなやかな県土づくりに向けて、ハード・ソフト両面で**防災・減災、県土強靱化**を着実に推進します。

主な取組

ハード対策

- 平常時・災害時を問わず安定した人流・物流を支える**広域道路ネットワーク**や**緊急輸送道路**の充実・強化
- 災害時における道路交通やライフラインの確保に向けた**無電柱化**の推進
- 安全な道路交通を確保し、孤立集落の発生等を防止する**道路の防災対策**の推進
- 倒木による通行止めや電線等のライフライン被害を防止する**予防伐採**の推進
- 地震による被災を最小化し、緊急車両の通行確保に向けた**橋梁耐震化**の推進
- **洪水による被害を防ぐ河川整備**の推進
- 土砂災害を防止する**砂防関係施設整備**の推進
- **上下水道施設の耐震化対策**の推進
- 大規模災害発生時に防災拠点として機能する**都市公園**や**道の駅等の防災機能強化**等

広域道路ネットワークの充実・強化



国道408号/真岡宇都宮BP

緊急輸送道路無電柱化



県道大田原高林線/大田原市

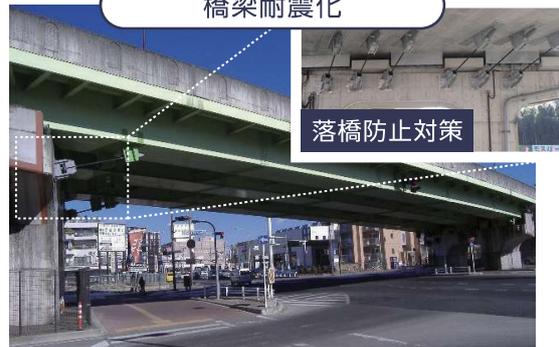
道路の防災対策



落石防止対策

国道121号/日光市

橋梁耐震化



落橋防止対策

県道宇都宮向田線/宇都宮市/鬼怒通り高架橋

河川整備



武名瀬川/上三川町

砂防関係施設整備



鮎田地区/茂木町

下水道施設耐震化



管渠接合部可とう化

都市公園防災機能強化 (駐車場大区画化)



那須野が原公園/那須塩原市

主な取組

ソフト対策

- 水害や土砂災害の危険度を分かりやすく伝える**リアルタイム情報**の充実と確実な発信
- 洪水浸水想定区域や内水浸水想定区域、土砂災害警戒区域に基づく**ハザードマップ整備の支援**
- 地域防災力の向上に向けた**各種防災訓練や出前講座・ワークショップ**の実施
- **自然災害に備えた資機材**の適切な配備と運用
- 土砂災害警戒区域を分かりやすく伝える**ダイレクトメールの送付や標識**の設置
- 国・県・市町・企業・住民などあらゆる関係者が協働して取り組む**流域治水**の推進
- 盛土等に伴う災害を防ぐ市町と連携した**盛土規制法の適切な運用**等

防災訓練



出前講座



土砂災害警戒区域等標識



横断的施策 2

社会資本の維持管理・更新

施策内容

加速度的に老朽化が進行する社会資本について、事後保全から予防保全への転換を見据えた長寿命化対策を実施するとともに、新技術の活用や地域との連携などにより、計画的・効率的な**社会資本の維持管理・更新**を推進します。

主な取組

- 公共土木施設等の予防保全への転換を見据えた**計画的な点検と効果的な修繕**等による老朽化対策の推進
- デジタル等新技術の活用による**維持管理等の効率化・高度化**
- **地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)**での広域連携・多分野連携による維持管理等の推進 等

計画的な点検及びデジタル等新技術(ドローン等)の活用



長寿命化対策(橋梁)



長寿命化対策(河川)



長寿命化対策(砂防関係施設ダム)



長寿命化対策(下水道)



長寿命化対策(公営住宅)



横断的施策 3

協働・地域間連携の促進

施策内容

将来にわたって持続可能な県土を形成していくため、**国や市町、関係団体、民間企業及び県民等のあらゆる関係者と連携**し、ハード・ソフト両面から**地域間連携の促進**に向けた取組を推進します。

主な取組

- 「とちぎの道路・交通ビジョン」に基づく、**県域を越えた連携・交流**を支える広域道路ネットワークや公共交通ネットワークの充実・強化
- 国・県・市町・企業・住民など**あらゆる関係者が協働して取り組む流域治水**の推進
- **地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)**による地域が連携した維持管理の推進
- **上下水道**の持続可能な事業運営に資する、**広域化・共同化に向けた市町等の取組**への支援
- 地域住民、学校、企業等の**ボランティア団体による環境美化活動**への支援(ボランティアサポートプログラム)
- 地域資源を生かした、**かわまちづくりや河川空間のオープン化、インフラツーリズム**の推進等

地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)について

広域連携の群マネ



市区町村同士の「水平連携」や都道府県も関与する「垂直連携」により、**自治体の枠を越えてマネジメント**

多分野連携の群マネ



道路や河川、公園、下水道など、**インフラ分野の枠を越えてマネジメント**

出典:国土交通省HP

ボランティア団体による環境美化活動



横断的施策 4

担い手確保・育成

施策内容

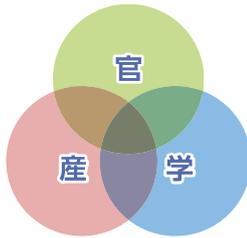
「地域の創り手・守り手」として建設業が持続的に成長・発展できるよう、将来の建設業を支える**担い手の確保・育成と働き方改革の促進、魅力発信**等を推進します。

主な取組

- **インフラトレーニングセンター**の開設による建設業の**担い手確保・育成強化**
- 多様な人材が安心して働くことができる**魅力的な労働環境の整備**推進
- 工事発注の**平準化**、週休2日の標準化や新技術の活用による**働き方改革**の推進
- 出前講座等による**防災教育の推進**とインターンシップ等の**キャリア形成支援**
- **あらゆる世代への広報**や、**建設業の魅力発信**等

インフラトレーニングセンターの役割

「産・学・官」で取り組む3本の柱



人材確保

人材育成

魅力向上



建設業の担い手育成を目的とした講習の状況

地域の守り手となる建設業



キャリア形成支援



あらゆる世代への広報



建設業への理解促進



横断的施策 5

DX・GX

施策内容

インフラ分野における生産性向上や業務効率化等に向けて、デジタル等
新技術の活用や導入支援等による**DX(デジタル・トランスフォーメーション)^{※1}**を推進します。

また、環境負荷の低減やカーボンニュートラルの達成等に向けて、グリー
ンインフラの活用等による**GX(グリーン・トランスフォーメーション)^{※2}**
を推進します。

※1 デジタル技術を活用して、ビジネスや社会の仕組みといった業務を変革する取組

※2 産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をグリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革する取組

主な取組

デジタル・トランスフォーメーションの推進

- **地図情報システムや3次元点群データの整備・活用**による社会資本の管理及び
防災情報発信の高度化
- **ICT活用工事の推進**による建設現場の生産性向上
- **遠隔臨場や情報共有システムを活用**した業務効率化
- **デジタル等新技術の活用**による維持管理等の効率化・高度化
- **インフラDXセミナー**等の各種講習会による人材育成

地図情報システム とちぎ まるっとマップ



3次元点群データの整備・活用



ICT活用工事



遠隔臨場



デジタル等新技术の活用



画像診断による舗装点検

各種講習会による人材育成



主な取組

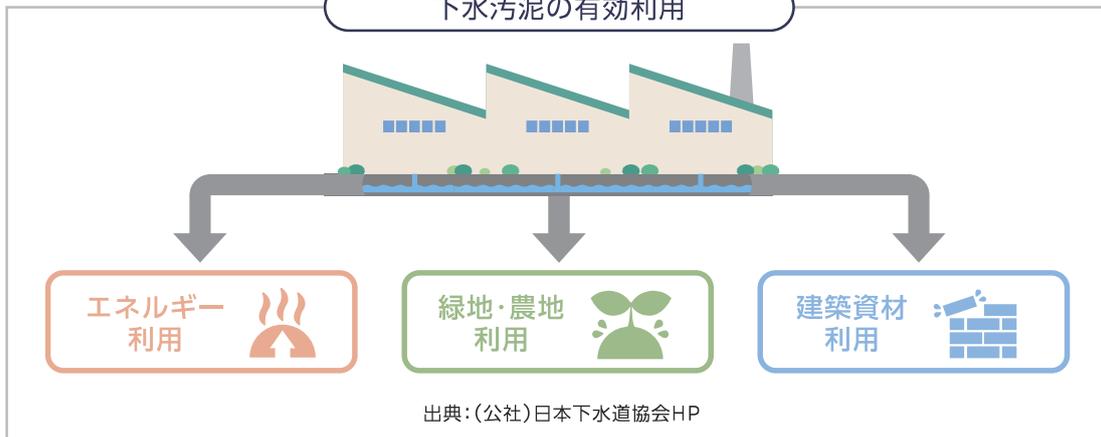
グリーン・トランスフォーメーションの推進

- 建設現場の排出ガス削減に資するICT活用工事の推進及び電動建設機械等の導入促進に向けた検討の推進
- 環境負荷の低い工法選択・製品利用の促進
- トンネル照明のLED化など道路設備の省エネルギー化の推進
- 渋滞対策など道路交通の円滑化による脱炭素化の推進
- 下水汚泥の有効利用の推進

電動建設機械等の導入促進



下水汚泥の有効利用



プランの推進とSDGs

本プランの各種施策を推進することは、持続可能な開発目標(SDGs)の達成にもつながります。

県民をはじめ、市町、企業、NPOなど地域社会を構成する多様な主体と県がSDGsの理念・目標を共有するとともに、連携・協働・共創しながら、SDGsの各ゴールの達成に向けた取組を積極的に推進していきます。

● プランに掲げるプロジェクトとSDGsの関係

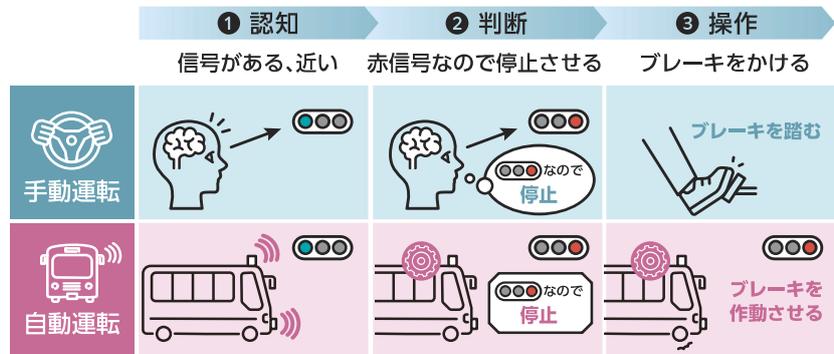
関連が深いゴールに●を記載

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	健康と福祉をすべての人に	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
重点施策		●						●	●		●		●				●
成長を支える広域道路ネットワークの充実・強化		●						●	●		●		●				●
誰もが安全で安心して利用できる道づくり			●	●					●		●		●				●
快適で円滑な移動を支える道づくり			●					●	●		●		●				●
災害に強い道づくり								●	●		●		●				●
未来を見据えた持続可能な道路管理		●							●		●		●				●
水災害を軽減するための流域治水の推進	●	●				●			●		●		●	●	●		●
災害対応力の強化									●		●		●				●
「とちぎのスマート+コンパクトシティ」の実現	●					●	●	●	●		●		●	●	●		●
誰もが安心して快適に暮らせる住まいの確保	●			●					●		●	●	●				●
快適で魅力にあふれる都市公園づくり									●		●		●				●
地域の実情に応じた公共交通サービスの確保・充実								●	●		●	●	●				●
横断的施策																	
防災・減災・県土強靱化		●	●	●				●	●		●		●				●
社会資本の維持管理・更新		●	●	●					●		●		●				●
協働・地域間連携の促進		●	●	●		●		●	●		●		●	●	●		●
担い手確保・育成				●				●	●		●						●
DX・GX						●	●	●	●		●	●	●	●	●		●

自動運転技術を活用した 地域課題の解決を目指して

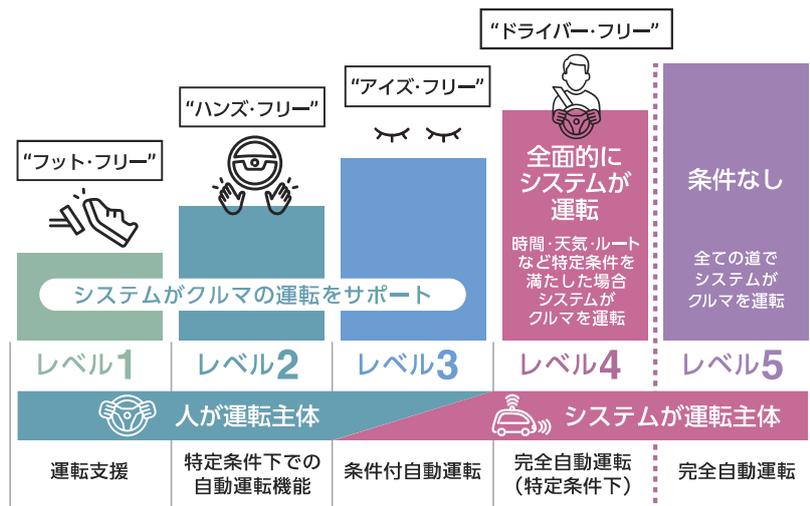
自動運転とは？

自動運転とは、人(運転手)が車両を運転する際に行っている、①認知、②判断、③操作という3つのプロセスをシステムが自動で行い、車両を動かす技術です。



自動運転のレベル

自動運転のレベルには段階があり、レベルが上がっていくごとに「完全自動運転」に近づいていきます。全面的にシステムが運転することとなる**無人自動運転はレベル4**からとなります。



自動運転の実現により期待される効果

自動運転は、自家用車・移動サービス・物流サービスに導入することにより、交通事故の削減、渋滞の解消・緩和、高齢者等の移手段の確保、運転手不足の解消、国際競争力の強化等につながる技術として期待されており、**栃木県を含む全国各地で地域の課題に応じた様々な取り組みが実施**されています。



- ### 自動運転の実現
- 交通事故の削減
 - 渋滞の解消・緩和
 - 移手段の確保
 - 運転手不足の解消
 - 国際競争力の強化

など

建設業の魅力向上へ向けて

～「建設業って、カッコいい。」明日の“とちぎ”をつくる仕事～

産学官連携で魅力発信!!

CCIとちぎ



建 Fes Go!



小学校訪問

「CCI」とは、「Charming Construction's Identity」を略したものです。

本県においては、平成4年度に産学官による「CCIとちぎ」(栃木県魅力ある建設事業推進協議会)を設立し、建設事業の役割や重要性の理解、公共施設への親しみを一層深めるために、地域と連携を図りながら各種事業を展開しています。

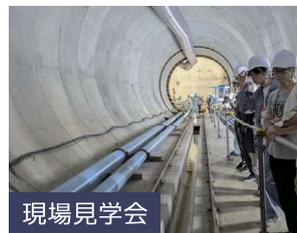
「CCIとちぎ」では、建Fes Go! (建設業協会主催)などに協力し、建設業の魅力向上へ向けPRを図っています。

新たな担い手確保!!

次世代との交流



とちけん小町



現場見学会

本県では建設業の担い手の確保に向け、**出前講座**や**現場見学会**など様々な取組を行っています。

とちけん小町魅力向上委員会では、幼稚園への建設絵本の読み聞かせなどを行い、建設業を身近に感じるきっかけづくりをしています。

また、新たな取組として、足利大学の情報系学生を対象に、DX(Digital Transformation)に取り組む建設現場を案内し、デジタル技術を活かせる就職先として建設業を紹介するなど、入職希望者の裾野の拡大を目指して取り組んでいます。

若手の声実現プロジェクト!!

作業服リニューアル



ミーティング



試着会

若手や女性職員の声を背景に、職員が着用する作業服を約20年ぶりに刷新します。

平均年齢20代の若手職員チームが一から企画立案し、「**作業服にも新4K!**」(カッコいい・快適・気配り・県民目線)をコンセプトに、見た目や動きやすさはもちろん、県民の皆様に親しみを持っていただけるデザインを検討しています。

新作業服は令和8年度から順次支給を開始する予定です。

年齢や性別を問わず、誰もが働きやすく、風通しの良い職場づくりを進めながら、建設業の魅力向上に取り組んでいます。

メリハリのある働き方!!

働き方改革



建設現場の働き方改革を推進するため、週休2日の原則化、準備や猛暑日を考慮した工期設定、ICTの活用、資料簡素化等に取り組んでいます。

チャンネル登録・フォロワー募集中!!

SNSによる情報発信



@TOCHIGI_KENDOSEIBI

YouTube、X、Instagramを活用し、県土整備部の取り組みを紹介しています。

いざ、新4K(給与・休暇・希望・カッコいい)の実現へ!

● 成果指標一覧

ページ	成果指標	現状値	目標値
P29	広域道路ネットワークを構成する主要路線の整備延長	- km(2025)	10km(2030)
P29	高速道路のスマートIC 数	6箇所(2025)	10箇所(2030)
P31	通学路等の歩道整備延長	- (2025)	60km(2030)
P31	事故危険箇所の対策箇所数	58箇所(2025)	71箇所(2030)
P31	自転車通行空間の整備延長	530km(2025)	555km(2030)
P32	主要渋滞箇所の対策箇所数	59箇所(2025)	91箇所(2030)
P33	電線類地中化の整備延長	79km(2025)	90km(2030)
P33	道路防災点検における要対策箇所の整備率	65.3%(2025)	68.4%(2030)
P34	橋梁 [*] の長寿命化対策実施数 <small>※令和7(2025)年度末において、早期に措置が必要と判断されている全174橋</small>	0橋(2025)	174橋(2030)
P35	河川における優先整備区間の整備延長	98.9km(2025)	120.0km(2030)
P35	土砂災害警戒区域内における重点整備箇所の対策完了箇所数	55箇所(2025)	88箇所(2030)
P37	市町によるハザードマップの整備率	75%(2025)	100%(2030)
P40	立地適正化計画策定市町数	16市町(2025)	21市町(2030)
P40	空家等管理活用支援法人の指定法人数	6法人(2025)	15法人(2030)
P40	下水道普及率	70.4%(2024)	73.2%(2030)
P40	防災指針策定市町数	14市町(2025)	21市町(2030)
P40	上水道の基幹管路耐震適合率	40.3%(2023)	47.3%(2030)
P40	流域下水道の重要管渠耐震化率	36.1%(2024)	90.0%(2030)
P40	都市再生整備計画地区数	109地区(2025)	119地区(2030)
P41	住宅の耐震化率	92%(2025)	96%(2030)
P41	バリアフリー化された県営住宅戸数	3,310戸(2025)	3,400戸(2030)
P42	県営都市公園の年間利用者数	506万人(2024)	530万人(2030)
P44	鉄道・バス等の利用者数	22.2万人/日(2024)	24.6万人/日(2029)
P44	公共交通に関する満足度	59.2%(2025)	60.0%(2030)
P44	共創に係る事業の取組件数	53件(2025)	100件(2030)

TOCHIGI INFRA DEPT.



発行 栃木県

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20
県土整備部監理課
TEL : 028-623-2384 FAX : 028-623-2392

栃木県公式ホームページ
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/>
(QRコードからもご覧いただけます)

